

2022年度 宇都宮大学 多文化公共圏フォーラム 第6～16回 国際学部主催オンライン国際交流 2022/チェコ共和国

チェコ在住の尾形祐美氏、パヴェル・ヤンシュタ氏を講師に迎え、日本語（尾形氏）と英語（ヤンシュタ氏）で、講義とワークショップを行います。（質疑応答は日本語可）各回とも参加費無料、単発受講可です。国際キャリア教育科目「多文化公共圏実践演習（グローバル）」「多文化公共圏実践演習（グローバル）」の公開授業です。



講師プロフィール

尾形祐美：絵とことばの作家。チェコでチェコ人の句会を主宰。

チェコ語を専攻、チェコの映画を研究したあと、銅版画を始める。東京、長野、プラハ、山梨、チェスケーブデヨヴィツェなどで絵とことばの個展を開催。絵本など、絵とことばの作家として活動。チェコ人の夫とともに、チェコ人の俳句の会「月見草」（PUPALKA プパルカ）を主催し、チェコの小学生から大人までを対象に、俳句のワークショップを行う。

ホームページ <http://www.hiromi.cz>

パヴェル・ヤンシュタ：旅行家、地方議員、市民文化オーガナイザー

プラハ、ドレスデン、ミュンヘンで政治学、国際関係学を学ぶ。学生時代から長年、修辞学と創作のクラスに通う。2010年から2014年まで人口7千人の町、ヴォドニャニで副町長を務める。現在、町の協議会の会員として12年目を迎える。ヴォドニャニにて定期的にペチャクチャナイトを主催。（www.pechakucha.com/cities/vodnany）旅行家として世界各地を徒歩やヒッチハイクで旅行、巡礼した。その体験をもとにした展示、講演会を日本やチェコで開催。芭蕉「おくのほそ道」を日本巡礼中に読み、俳句を始める。



尾形氏&ヤンシュタ氏



ヴォドニャニの紋章

<問い合わせ・申し込み>

国際学部附属多文化公共圏センター

028-649-5228（平日 10-16時）

tabunka-c@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



申し込みは左記の QR コードまたは以下のリンクからお願いいたします。

<https://onl.tw/TW3dNj8>

尾形祐美「南チェコでことばについて考える」		
10月14日 (第6回)	16:00~17:30	チェコと日本で季節感について俳句を通して気づくこと ・次回のゲスト、チェコ俳人の俳句を紹介、質問募集
10月21日 (第7回)	16:00~17:30	チェコの句会月見草からチェコ俳人のゲストを招いて対話 日本の学生から質問、チェコ俳人から日本人学生への質問など (英語、日本語も可)
10月28日 (第8回)	16:00~17:30	「いつもそこにあるもの」について、作品作りにおいて
1月27日 (第16回)	14:20~17:30	句会月見草：チェコの俳人との合同句会

パベル・ヤンシュタ「Living (in) World」(生き生きとした世界/世界に生きる)		
11月25日 (第9回)	16:00~17:30	Living (in) Town 街で生きること/ 生き生きとした街について考え、具体的に何から始めたか
12月2日 (第10回)	16:00~17:30	Map of emotions of the town「街の場所によって感じる感情を示した地図」を子供から大人まで市民全体を巻き込んで、どのようにして作成したか
12月9日 (第11回)	16:00~17:30	Glocal Architecture グローカルな建築：地元の人でも外からの人も巻き込んだ街の改善を目指した建築プロジェクトについて
12月16日 (第12回)	16:00~17:30	グローカルな市民参画：街に影響を及ぼす工業施設の建築などに対する市民投票の例など、どのように市民の声を反映していくか
12月23日 (第13回)	16:00~17:30	Local changes with global impact ローカルな変化が国際的なインパクトに：地元市民のために進めたプロジェクトが、長い目で見ると国際的に評価されたり、影響を与える例
1月6日 (第14回)	16:00~17:30	Map of emotions of Utsunomiya University 共同で宇都宮大学の「Map of emotions」を作り、その結果について自由に話し合う
1月20日 (第15回)	16:00~17:30	Living (in) University 宇都宮大学の「Map of emotions」を元に、大学構内の改善点について自由に話し合い、数名のグループで実際に仮想プロジェクトを時間内に組み立ててみる



フォーラム企画担当

松井貴子 (国際学部教授/多文化公共圏センター員)
「多文化公共圏実践演習 (グローバル/グローカル)」担当

本フォーラムは、国際学部ミッション達成支援経費の助成を受けて開催されます。